



# ふじのくにユースネット

F U J I N O K U N I Y O U T H N E T

Vol. **163**  
2016.SEP

静岡県青少年育成会議広報紙

編集発行：静岡県青少年育成会議

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL：054-221-3305  
事務局（静岡県教育委員会社会教育課内）FAX：054-221-3362  
e-mail：kyoui\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp

## CONTENTS

- 平成28年度静岡県青少年育成会議の基本方針・活動テーマ ..... 1
- 平成28年度静岡県青少年育成会議総会・研修会 ..... 2
- わたしの主張2016静岡県大会 ..... 2・3
- 静岡県青少年育成会議会員の活動紹介 ..... 4
- 会員募集のお知らせ ..... 4

## 「わたしの主張2016」静岡県大会を開催しました！

本年度も『静岡県遊技業協同組合』様からいただいた補助金を有効に活用させていただきました。



中学生が日常生活の中での様々な体験を通して考えたこと、感銘を受けたことなどを発表する「わたしの主張2016」静岡県大会が平成28年8月19日（金）袋井市中央公民館にて開催されました。

※詳細はP 2・3

### 静岡県青少年育成会議基本方針

## 「ふじのくに」県民総がかりの子ども・若者育成支援活動の推進

### 活動テーマ（平成26～28年度共通）

## 子ども・若者の社会参加と社会参画を促す県民運動の活性化

本年度は、3カ年の取組のまとめの1年として、各団体主催事業において、子供・若者が企画段階から参画できる機会を設けたり、継続して参加・参画できる環境づくりを進めたりと、子供・若者が活躍できる場の拡大を目指し、県民総がかりでの子供・若者育成支援活動を推進します。

# H28 静岡県青少年育成会議総会・研修会開催

去る6月9日(木)、128団体の会員出席のもと(委任状を含む)平成28年度総会及び研修会を静岡県青少年会館で開催し、総会では役員を選任、平成27年度事業・収支決算報告、平成28年度事業計画・収支予算の全ての議案が満場一致で承認されました。

総会に続いて開催した研修会では、子供の社会参加と社会参画の促進を目的とした事例発表とグループワークを開催しました。どのグループでも活発な情報交換や意見交換が行われ、代表グループの発表をとおして、全体で意見の共有をすることもできました。

## H28静岡県青少年育成会議役員紹介(敬称略)

会長：川勝 平太  
副会長：大石 節雄/松田 直子/石垣 秀士  
運営委員：齋藤 立己/高橋 邦武/志村 剛和/望月 敬剛  
山崎 好和/川崎 秀和/松村 龍夫/南條 隆彦  
岩崎 康江/齋藤 正/古川 賢吾/瀬口勇一郎  
監事：笹田 英次/杉田 勇三

## 事例発表

### 【NPO法人 遠江(浜松市)】

若い世代から、高齢者や子どもに関する知識や理解を深め、将来の静岡県の福祉や市民協働を担う人材育成を目的とした「中高生福祉職場体験講座」を実施。

### 【磐田市青少年健全育成会連合会】

平成27年11月、磐田市青少年健全育成大会を開催。優良青少年等の表彰、中学生の主張、広島平和記念式典参加報告、携帯・スマホ等の使用に関する「磐田ルール」採択、講演会「子供たちを取り巻くネット環境～最新事例とその対応法～」

## グループワーク



# 「わたしの主張2016」静岡県大会を開催!

今年で38回目を迎える「わたしの主張2016」静岡県大会が、8月19日(金)袋井市中央公民館にて開催されました。この大会は、中学生の皆さんが、日常生活の様々な体験を通して考えたことや未来への夢と希望を発表する大会です。本年度は、170校14,208点の応募があり、審査会で選考された13名が、自分の思いを堂々と語ってくれました。また、アトラクションでは、袋井市の小中学生エアロビクスチーム「エアアローセブン」の力強い演技と、袋井南中学校吹奏楽部による迫力あるマーチング演奏が会場を盛り上げてくれました。

## 最優秀賞



「笑顔で見合わせて」

持田 朋花さん

(沼津市立門池中学校3年)

## 優秀賞(発表順)

「コンプレックスを個性に」

木村友里乃さん(牧之原市立榛原中学校3年)

「思いと行動が繋がって」

藪本 愛音さん(袋井市立袋井中学校3年)

「未来のため君のために」

鈴木 涼太さん(牧之原市立榛原中学校3年)

## 共感賞

会場の中学生全員の  
投票により決定!

「完璧でなくていい」

佐藤 美怜さん(静岡市立城内中学校3年)

## 優良賞(発表順)

「完璧でなくていい」

佐藤 美怜さん(静岡市立城内中学校3年)

「違う視点をもつことから」

大城さくらさん(浜松市立北浜中学校3年)

「言葉のあり方」

西島 皓平さん(長泉町立長泉中学校3年)

「磐田の魅力を伝えたい!」

菊池 茉優さん(磐田市立豊田南中学校3年)

『「今」を変えるー私たちの使命』

飯塚 日奈さん(浜松市立蛸塚中学校3年)

「私と福祉～祖母が教えてくれたこと～」

渡辺 美晴さん(沼津市立片浜中学校3年)

「明るい社会への近道は」

近藤 真白さん(静岡市立安東中学校3年)

「買う側として」

森島 悠斗さん(湖西市立新居中学校3年)

「誰もやりたがらないこと」

大瀧 夏未さん(掛川市立東中学校3年)



# わたしの主張2016静岡県大会最優秀賞

「笑顔で見合わせて」沼津市立門池中学校 3年 持田 朋花



ゆっくりと顔を上げ、相手の手元を見つめる。宙に浮く球。来る！しかし、球はラケットの側面に当たり、あらぬ方向へ。そして、飛んで行った球は、隣で試合をしている人の頭にぼこんと当たりました。

「ふっ。」

思いがけない出来事に、私たち二人は顔を見合わせて笑ってしまいました。

中学校で卓球部に所属している私は、週に2回ほど卓球教室に通っています。そこには聴覚支援学校の生徒も通っており、私たちは試合や練習を一緒に行っています。私は聴覚障害者である彼女と初めて試合をした

とき、どう接すればよいのか分からず、何のコミュニケーションも取れませんでした。その日、家に帰ってからなんとなくそのことが気になり、何かコミュニケーションをとる方法があったのではないかと考えてしまいました。そして、自分なりに考えた結果、次こそはジェスチャーを使ってコミュニケーションを取ってみようと決めました。

次に試合をしたとき、私は早速それを実践してみました。ミスをしてしまったら手刀を切って謝ったり、サーブ権がわからなくなってしまったときは、球を相手や自分に向けてどっちと訊いたりしました。すると相手側もジェスチャーで反応してくれるようになりました。私はその子と心を通わせることができた気がして、コミュニケーションが取れたことをとても嬉しく思いました。そうしていくうちに、試合の中で珍プレーがあったらお互いに顔を見合わせて思わず笑うようになりました。

「障害とは、実は障害者自身が持っているものではなく、障害者の行動を妨げている社会の環境の方にある」

私はこのような文章をインターネットで見つけました。「大多数の人のための設備や、障害があるということに対する周囲の目が本当の障害である」という意味でした。この文章を読んで、私は気づきました。私の「障害のある人のためにどうしたらいいんだろう」と考える行為自体が、障害のある人との間に壁を作っていたということに。

今、社会では障害者雇用のための動きが進められています。2015年には、障害者雇用率が1.8パーセントから2パーセントへ引き上げられました。しかし、実際の雇用率は、1.76パーセントと、引き上げ前の数値にさえ及んでいないのが現状です。原因の一つとして、障害のある人にはそれぞれどのような仕事が合っているのかが、判別しづらいということがあります。適性に合わない業務では、やる気が保たず、企業としても必要な人材とは言いがたくなり、退社となるケースも少なくないそうです。

しかしその一方で、障害がありながらも障害のない人以上に活力を持ち、仕事をしている人たちもいます。その人たちは「重度障害者の働ける場を作りたい」という思いから、自ら会社を立ち上げました。小さい頃から身近にあったコンピュータを使って、ウェブサイトやアプリの制作をしています。彼らは自分たちにできる「コンピュータを使う」ことを最大限に生かして仕事をしています。個々の長所を見極め、それを生かすことができれば、働くときも障害の有無は関係なしに活躍できることが分かります。得意なことを生かせる環境作り。これが進めば障害のある人はもちろんない人も、全ての人にとって望ましい世の中が生まれるはずですよ。

日頃、私たちはお互いに助け合いながら生活しています。それは「他の人を助けよう」と意識してやっていることではなく、自然に行っていることです。だから「障害があるから」と考える必要はなかったのです。私は普段部活でプレーしているときでも周りが見えなくて相手の声が聞き取りづらいときはジェスチャーを使います。しかし、その行為はごく自然にやっていることでした。つまり私が特別考えなくても、コミュニケーションは取れたはずなのです。

真の共生社会とは、障害者、健常者問わずどんな人にも優しい世の中です。それは互いの長所を活かし短所を補い合うことで生まれます。誰とでも自然にそうできるようになることが、世の中をより良くするカギになるのではないのでしょうか。

飛んでいった球を拾い、彼女は私を見ました。「いくね」と笑顔で伝え、球を私へ向かって投げてくれます。今度は私のサーブです。私たちのラリーの音が心地よく心に響きます。



## 会員の皆様の活動を紹介します。



### 【浜松市】一般社団法人 未来学校

一般社団法人未来学校は、地域の大人が積極的に青少年との接点を持ち、学校と地域が協力して、明るい未来を子どもたちと一緒につくることを目的にした事業を行うため、2016年8月に設立された団体です。

設立前から活動している「未来授業」は、30回以上の開催を数えます。

「未来授業」は、小・中・高校の授業に地域の大人が参加し、「社会に出ること」「大人になること」「働くこと」など未来について考え、語り合う授業です。クラス単位、学年全体といった講義だけでなく4～5人のグループに大人が一人加わって行う少人数形式の授業では、双方向に意見を交わしあいながら深いコミュニケーションを取ることができるため好評です。いつもは遠慮がちな生徒も積極的に質問したり、真剣なまなざしに講師の大人も力が入ったりと、普段とは違う授業スタイルに教室は毎回白熱しています。学校の先生を元気にしたい、という思いもあるため、毎回担当学年の先生全員とスタッフで打ち合わせの機会を持ち、終了後は学校と地域をつなぐ交流会も行っています。



今後は学校の外でも「仕事」や「大人」と触れ合う機会を持てる体験型の施設や事業などの運営も計画しており、コミュニティの環を広げていきます。

電話 053-451-3701 (事務局(株)ありがとう内)  
URL <http://mirai-jyugyou.com>

地域の子供・若者の  
「元気」と「笑顔」があふれる社会を  
みんなで力を合わせて  
つくっていきませんか？



静岡県青少年育成会議  
正会員(個人・団体)、賛助会員

## 会員募集

◎正会員 個人会費：年額1,000円 団体会費：年額3,000円

◎賛助会員 年額一口5,000円とし、一口以上

静岡県青少年育成会議の活動は、当会議の趣旨に御賛同いただき、御加入いただいた会員の皆様によって支えられ、運営しています。

会員会費を有効に活用するために、会員団体が主催する青少年健全育成事業に対して最大5万円の補助金を交付する事業をはじめ、講演会や研修会の御案内、広報紙や啓発リーフレットの送付、会員同士の情報提供等も行っています。

＜平成28年9月現在 会員数：183(団体182・個人1)＞

【お問い合わせ】静岡県青少年育成会議事務局(静岡県教育委員会社会教育課内) TEL: 054-221-3305